



「子どものSOSの受け止め方」

兼 諏訪・上伊那地区高等学校PTA指導者研修会

オンライン

NPO法人自殺対策支援センターライフリンクの清水康之さんから、「子ども・若者の自殺を防ぐ～自殺の現状とSOSの受け止め方など～」と題してお話いただきました。全国的に10代の自殺死亡率が他の年代に比べて増加していることや、「学校に行きたくない」という言葉がSNS上で検索される数に応じて小中高生の自殺者数の増減が見られるなど、示唆的なお話がありました。

「どうすればつらいことがあっても“生きていこう”と思える地域社会をつくることができるか」また、「どうすれば自殺問題を個人の問題ではなく、社会の問題として捉えられるか」などについて、参加者一人一人が考えるきっかけとなりました。

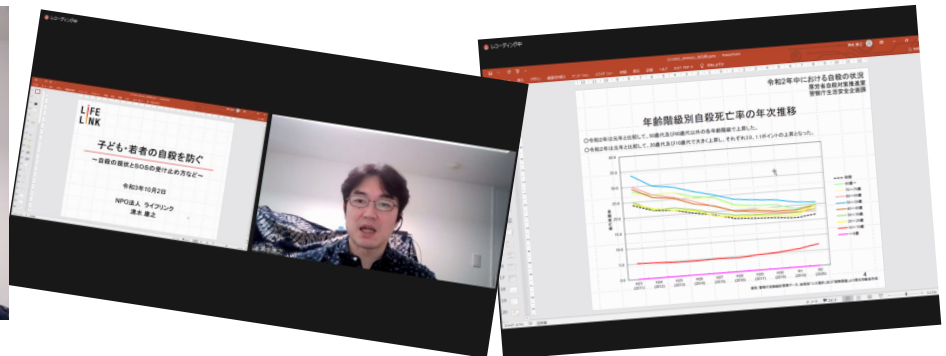
受講者：106名

<研修内容>

【講演】

演題 「子ども・若者の自殺を防ぐ～自殺の現状とSOSの受け止め方など～」

講師 NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表 **清水 康之 氏**



<受講者アンケートから>

- 世の中は悪い方へ進んでいると感じます。自分にできることが何か考えました。(一般)
- 子どもにとって信頼できる大人になります。(一般)
- 自殺の現状をお話くださり、大変参考になりました。(一般)
- 具体的な事例の紹介が特によかった。いじめの「探偵事務所」について知りたくなった。(一般)
- この問題を重く受けとめ、しっかりと向き合っていくことの大切さを感じました。大人には大きな責任があります。SOSを受け止めるスキルを高めていきたいと思えます。(学校教職員)
- 長野県での子どもの自殺が問題になっていると知り、当事者である高校生としてもっと子供の意識や問題、それに対する大人的心情や活動について知りたいと思い、講座を受けさせて頂きました。お話を聞いて、人間、特に青年期の学生が精神が不安定で、合理的な行動や考え方をすることが難しくなると気づかされ、それに正しく対応してくれる大人がいることはとても頼もしく思います。(一般)
- この問題を重く受けとめ、しっかりと向き合っていくことの大切さを感じました。大人には大きな責任があります。SOSを受け止めるスキルを高めていきたいと思えます。(学校教職員)